

ビデオカンファレンス

事例1 映像を活用して自分の保育を振り返る

東京都 新宿区立戸塚第二幼稚園（公立）

研修のねらい

- 子どもを見る視点をみかく
同じ場面でも保育者により見方が分かれることを実感し、保育に対する視野が広がる。
- 各自の課題を発見する
他の参加者の意見などを参考にして自分の保育を振り返り、課題を発見するきっかけになる。
- 園の方向性を共有する
参加者が話し合いを通して保育の方針や具体的な手法などを共有し、園の方向性が明確になる。

所要時間 1時間 40分

用意するもの

- ・保育の様子を撮影したビデオ（自園の保育を映したもので、研修用に市販されているものでも可）
- ・ホワイトボード
- ・大きめの付せん紙（3色）

研修の流れ

1 ビデオを見る

ビデオを見ながら、気づいたことなどを付せん紙にメモします。付せん紙は3色を用意し、「気づいたこと」「なぜそうなったのか（原因）」「自分ならどうしたか（対処法）」の3つを色分けして記入します。



POINT

- ★経験の浅い先生には、どこに注意して見たらよいかを伝えます。
- ★解説入りの研修用ビデオの場合は音声をオフにします（解説を聞くことに注意がいき、自由な発想が阻害されるため）。

20分

2 意見を整理する

視聴中に書いたメモに補足するなどして整理します。あまり詳しく書く必要はなく、箇条書きでもOK。



POINT

- ★人の意見を聞く前に紙に書くことにより、自分の考えが明確になります。
- ★各自の考えを十分に引き出すため、話し合いはせず、個々に作業します。

20分

3 意見を分類する

意見の書かれた全員の付せん紙を場面ごとに分け、ホワイトボードに掲示します（KJ法）。作業は全員で話し合いながら進めます。※KJ法：複数の情報や表現を、グループ化し、新たなアイデアを発見する技法



POINT

- ★自分と同じ、または異なる意見があることが視覚的に理解しやすくなります。
- ★意見を掲示することにより、若手の先生も遠慮せずに発言しやすくなります。

10分

4 ディスカッションをする

付せん紙の内容をもとに意見を発表し合います。特に、ある意見に対し、どのような同意見、または異なる意見があるかに着目し、話し合いを深めていきます。



POINT

- ★あらかじめ、意見がグループ化されているため、話し合いが活性化されやすくなっています。
- ★話し合いの最後に「正解」を出す必要はありません。「いろいろな見方がある」という理解に重点を置きます。

30分

5 再度ビデオを見る

最後に、もう一度ビデオを見て、自分の気づきを振り返ります。



20分

POINT

- ★解説入りの研修用ビデオの場合は音声をオンにします。
- ★ディスカッションを踏まえて改めて気づいたことがあれば、意見交換をしてもよいでしょう。

研修を受けた感想

喜多川千秋先生
（5歳児クラス担当）

◎実際の保育では、同時に多くの子どもにかかわるため、ひとつの場面をじっくりと見る機会はありません。しかし、ビデオカンファレンスを通して、ひとつの場面でも子どもたちのさまざまな思いや感情が込められていることに改めて気づきました。一瞬だけを見て判断するのを避けるとともに、自分が見ていなかった場面については子どもたちから話しを聞くことが、信頼関係の構築には欠かせないと思いました。

山根祐子先生
（4歳児クラス担当）

◎複数の保育者が同じ場面を見て話し合うのは、とても貴重な機会だと思いました。ある場面に對する3人の考えは、ときに違ったり、同じだったりしましたが、そもそも子どもの気持ちは日々変化するため、ひとつの答えはないと思います。それだけに、ふだんの保育ではどのように対応するべきかに困るのですが、3人での話し合いを通して、まずはしっかりと自分なりの考えをもつことが大事だと感じました。

杉下香織先生
（3歳児クラス担当）

◎同じ場面を見ているのに、それぞれの保育者がまったく異なる見方を提示したのが、とても興味深かったです。研修に用いたビデオは、私たちの園の保育を撮影したものではなく、また最初は音声をオフにして見たこともあって、子どもの気持ちを読み取るのに苦労しました。さらに私自身が子どもの発達段階を理解しきれていないことも、難しさを感じた要因かもしれません。もっと勉強が必要だと、改めて痛感した研修でした。

研修の方針

教頭 児玉勝枝先生

◎研修に参加した3名は、ビデオカンファレンスを通して、それぞれがまったく異なる視点をもつことを実感していた様子でした。この気づきにより、子どもを見る視野が広がったはずですし、日常の保育ではひとつの考え方に固執する必要がないことがわかったのではないかと思います。これからも向上心を忘れず、子どもの細かな心のひだを感じ取り、一緒に喜び合える保育者になってほしいですね。最近、園内で「目指す子ども像」を話し合い、整理しているところですが、ビデオカンファレンスはそのような作業にも役立つと思います。研修時間の確保は容易ではありませんが、業務の効率化などにより、これからも続けていきたいと考えています。

新宿区立戸塚第二幼稚園



◎小規模園の良さを生かし、一人ひとりの個性を尊重した保育に力を入れる。戸塚第二小学校の敷地に併設されており、小学生との交流も盛ん。家庭や地域との連携にも重点を置く。今年の10月に上記の取り組みに関する研究発表を行う。

園長 川越秋廣先生

所在地 〒169-0075
東京都新宿区高田馬場1丁目25番21号

園児数 47名（3クラス・3年保育）